

2020
1・20

月4回
月曜日発行

第1134号

週刊ビル経営

発行所 (株)ビル経営研究所
〒104-0061
東京都中央区銀座7-17-12 2F
TEL 03 (3543) 7421
FAX 03 (3543) 5839
発行人 垂澤清三
年間購読料 30,000円(税込)
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS
亀岡大郎取材班グループ

ソーコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所
代表取締役 出村 亜希子
奈良女子大学大学院修了後CM
会社を経て現職。一級建築士、
宅建士。「倉庫ドクター」とし
て建築面からオーナー支援に取
り組む。

ソファや
リクライ
ニングチ
ェア、バ
ーカウン
ターなど
を配した
多種多様
なりフレ
ッシュス
ペースを
併設した
オフィス
も増えて
きていま
いる企業
も見受け
られるよ
うになって
きました。
ポイント
となるの
は、仮眠
スペース
とシヤ
ワースペ
ース。お
しやれな
カアセル
ベッド
やリクラ
イニング
チェアを
配して、
様々な働
き方に対応
します。コ
ンパクト
で合理的
な空間活
用ですが
、運用を
しっかりと
することが
重要にな
ります。

倉庫をオフィスにリ
ノベーションする手法
ーアドレスデスクで、
仕事の内容やそのとき
の気分などによって場
所を選ぶことができま
す。居心地の良い
場所を見つけて働
くことができるよ
うになり、業務効
率の向上にも期待
が寄せられている
ようです。

第21回「働き方改革でオフィスも大変革」

「会議やミーテ
ィングに使える
小規模な閉じた
空間」を複数設
けることによっ
て、全体的にメ
リハリのある空
間構成がなされ
ています。

「ハードだけでは
ありません。ソフ
ト面の取り組みも
興味深いもので
す。なかでも注目
しているのが、フ
アマリーオフィス
の傾向です。

ファミリーオフ
イスとは、従業員
同士が和気藹々と
家族のような雰
気で働けるオフィ
スを指します。長
時間を過ごすオフ
イスを、擬似的な
住まいととらえる
概念です。福利厚
生とくろのか、期
待とともに、そ
れを提供する立
場としての役割
の大きさをあら
ためて噛みし
めています。

なかには自習室のよ
うに集中して作業でき
る「こもり空間」や、
lonnミーティング
のための狭小ルーム、
でシェフがレストラ
ン